

第20回 井植文化賞 受賞者発表

主催・財団法人井植記念会

戦後、日本の復興と繁栄に大きな足跡を残した三洋電機株式会社の創設者故井植歳男氏の遺志により、昭和44年11月に「財団法人井植記念会」が設立されました。同会は、兵庫県在住、またはゆかりのある個人、あるいは団体で、それぞれの分野で目覚ましい活躍をされたり、多大な貢献をされた方（団体）の功績を讃

え、地域社会のよりいっそうの発展に寄与したいと、昭和52年に「井植文化賞」を制定しました。

第20回のことしの6部門の受賞者は、選考の結果、次のとおりに決定しました。受賞者にはライオンのブロンズ像と、副賞として賞金（個人30万円、団体50万円）が贈られます。

■文化芸術部門

甲南高等学校
貴志康一記念室

〈代表者／井野辰男校長〉



■報道出版部門

三条 杜夫
『いのち結んでー
その時、被災放送局AM神戸は』



■科学技術部門

眞山 滋志

〈神戸大学農学部教授〉



■地域活動部門

「洋菓子KOBEx展」

〈大丸神戸店森範二店長〉

〈村上和子プロデューサー〉



■社会福祉部門

神戸ライフ・ケア
協会

〈代表者／今井鎮雄理事長〉



■国際交流部門

関西バングラデシュ・
プロジェクト

〈代表者／小泉製麻相談役 小泉徳一〉
〈事務担当責任者／関西タイムアウト編
集長 デビット・ジャック〉



（敬称略）



第20回 井植文化賞

～科学技術部門～



●選考委員

- 石山 靖男
〈神戸新聞社メディア開発局長〉
- 片岡 邦夫
〈神戸大学工学部長〉
- 加藤征史郎
〈神戸大学農学部部長〉
- 山本 節
〈神戸大学医学部長〉

植物の病気を防ぐ
人と環境にやさしい新しい方法

眞山 滋志

植物の病気は、病気を発生させる物質や、それに抵抗する遺伝子などが解明されて、いまではバイオテクノロジーが病気に強い植物の育成に使われている。

眞山教授は、オート麦冠さび病をモデル系として植物の抵抗性発現の分子機構解明の研究を進め、イネ科植物としては世界最初に植物が病原菌の感染に抵抗して産出するファイトアレキシンと呼ばれる抗菌性物質を同定し、植物に抵抗反応を始動させる物質（エリシター）を明らかにするなど、病原体に対する植物の認識とそのシグナルの伝達様式と抵抗性遺伝子の発現機構の解明を進めている。

教授の研究は、人と地球環境を汚染しない病害防除法の開発を可能にするものと期待される。

〈加藤征史郎〉

■選考経過

大震災直後から神戸大学は全学部が地震・震災研究に取り組んでいるが、成果がまとまるまでに長い時間を要するテーマが多い。その中でも、医学の分野からは日本神経科学学会の会長で生理学の岡田安弘教授、検死に日夜努めた法医学の龍野嘉紹教授、多くの外傷患者の治療に当たり、その活動記録を出版した整形外科の水野耕作教授らが候補に上った。

工学の分野でも震災関連の研究は数多いが、それとは別に人間工学専門で、超精密加工技術を追求しているロボットの森脇俊道教授の研究が候補に挙がった。農学では、病気に強い植物を作りだす研究をしている眞山滋志教授が取り上げられ、人と環境にやさしい病害防除法の開発を可能にするものだと注目され、決定した。

●受賞者メモリアル

- 1 櫻井春雄 自治医科大学
- 2 杉山武敏 遺伝子学
- 3 土田広信 農業化学
- 4 嶋田勝次 都市計画・建築学
- 5 沢村誠志 障害者の社会復帰
- 6 安藤四一 言語の研究
- 7 辻 莊一 実用有機化学
- 8 西原泰美 全理学
- 9 中岡睦雄 パワーエレクトロニクス
- 10 清水 晃 微生物生態学
- 11 岡田安弘 機能性生理学
- 12 賀谷伸幸 計測工学
- 13 田中千賀子 薬理学
- 14 安田武司 森林有用植物学
- 15 廣畑和志 整形外科
- 16 神島安啓 応用化学
- 17 加藤征史郎 生殖生物学
- 18 天津路雄 耳鼻咽喉科学
- 19 山本恵一 電子工学

第20回 井植文化賞

～文化芸術部門～

天才音楽家の偉業後生に伝える

甲南高等学校 貴志康一記念室

●選考委員

小石 忠男

〈音楽評論家〉

出谷 啓

〈音楽評論家〉

中西 弘則

〈神戸新聞文化部記者〉

わが国では稀有の、作曲家の遺品を集めた施設が芦屋にある。甲南高等学校が一九七八年に創設した貴志康一記念室である。同校で学び、のちベルリン・フィルを指揮して華々しく活躍した天才的音楽家の資料の収集と整備、さらには第二次大戦後は忘れられていた貴志の作曲作品の紹介に努力し、楽譜の出版やレコードの制作、さらに多くのコンサートを開催するなど、積極的な活動を続けてきた。その結果、貴志康一の作品と業績は、彼の在世中に勝るとも劣らぬほど広く知られ、高く評価されることになった。それは貴志康一の名声の復活にとどまらず、わが国の音楽史の研究はもとより地域文化の向上にも大きく寄与した。今後さらなる発展を望みたい。(小石忠男)

■選考経過

候補には、バッハ指揮者としてカントーラの全曲演奏を続けているバッハコレギウムジャパンの鈴木雅明があがった。また、ベテランのテノール歌手の若本明志は、ワーグナーのオペラでの評価が高かった。ドイツでのレコーディングなどの国際的な活動で知られるドイツ古典音楽のピアニスト、荒憲一、ルネサンスの頃の中世音楽を演奏する希少なグループ、岡本一郎とダンスリー・ルネサンスらが候補になった。貴志康一は、「日本組曲」などで知られる日本の代表的作曲家であるが、彼の遺品を収集保存し、忘れられた作品の復活、復権を果たしたことで日本の音楽界への貢献を果たしたという意味から、今回の受賞となった。

●受賞者メモリアル

- 1 河口龍夫 現代美術
- 2 山田幸平 作意
- 3 横井和子 エアニスト
- 4 荒木高子 陶芸家
- 5 多田智満子 詩人
- 6 田原富子 エアニスト
- 7 昇 外舞 画家
- 8 安水裕和 詩人
- 9 延原武善 指揮者
- 10 山沢栄子 写真家
- 11 神戸通ライオンズクラブ
- 12 青木はるみ 詩人
- 13 今竹七郎 クラフトデザイナー
- 14 菅沼 潤 演出家
- 15 宇江敏勝 作家
- 16 光安義光 建築家
- 17 大前 哲 作曲家
- 18 鈴木 漢 詩人
- 19 橋本 昭三 前衛美術



第20回 井植文化賞

～地域活動部門～

●選考委員

小笠原 暁
〈芦屋大学学長〉

小室 豊允
〈姫路獨協大学教授〉

崎山 昌広
〈神戸市立博物館副館長〉

洋菓子のメッカ
神戸をアピール

洋菓子K O B E展

『洋菓子天国K O B E展』のベストセラーを記念して、大丸神戸店で始まった催しも今年で9回目。著者でもある村上和子さんが総合プロデューサーをつとめ、毎年15万人もの集客を誇るおしゃれでスイートな神戸の名物イベント。

開港以来神戸の地に育まれてきたハイカラ神戸の洋菓子文化とその魅力を多面的に紹介し、洋菓子を《神戸らしさ》のシンボルとして、全国的にもアピール。職人達の交流、技術研修、女性菓子職人の進出の場となる。特に昨年は震災で破壊された神戸の街に夢と希望を与え、どの業界よりも速かったといわれる洋菓子業界の復興に大きな影響を与えるなど、このイベントが成し得た功績は多大なものがある。(小笠原暁)

■選考経過

震災後の様々なまちづくり活動や長年活躍を続けてきた団体に注目が集まった。

尼崎のビックロシアター館長の山根淑子さん、谷崎潤一郎旧邸の復元活動をしている鎖瀬閣復元準備室、被災地に心のやすらぎを与え、神戸の芸術復興を呼びかけたアード・エイド神戸、姫路文学館の橋川真一さん、3年後で返還100周年になる旧居留地協議会、障害者の福祉活動が50周年になる氷上連合婦人会、無数のボランティア団体の活動をネットワーク化した阪神大震災地元N G O救援連絡会議などが推薦される中、多数の洋菓子店がある神戸らしく、震災後の神戸に夢と元気を与えた洋菓子K O B E展に全員一致で決定した。

●受賞者メモリアル

- 1 城崎郡日高町
- 2 明石市民のコミュニティ活動
- 3 一宮町文化協会
- 4 尼崎郷土史研究会
- 5 房泊南部地区自治連合協議会
- 6 月刊神戸ッ子
- 7 明延ふるさとづくりの会
- 8 K I C S
- 9 丸山地区住民自治協議会
- 10 アンドレ・ブリュネ
- 11 神戸新聞文化センター
- 12 尼崎市演劇連絡協議会
- 13 プナを植える会
- 14 松島興治郎
- 15 山村蘭亭制度
- 16 山村蘭亭株式会社
- 17 淡路青年会議所
- 18 保健医療福祉ICカードシステム開発検討委員会
- 19 情報センター

第20回 井植文化賞

～社会福祉部門～

住民参加型在宅福祉
の先駆的役割を果たす

神戸ライフ・ケア協会

●選考委員

津田 元
〈神戸新聞社論説顧問〉

野上 文夫
〈神戸市看護大学教授〉

橋本 明
〈家庭養護促進協会事務局長〉

「共に生きる暮らしをめざして」の理念のもとに、市民が助け合い安心して暮らせる豊かな地域社会づくりのために我が国初の住民参加型有償ボランティアグループとして活動を始めてから今年で15年めを迎えた。高齢者、ハンディをもつ人々、子育て支援世帯などを対象に家事援助と介護を行なうのが活動の中心。登録ボランティアは五六〇名で主婦が中心。市民の利用料は一時間六〇〇円。昨年度の活動時間は三六六〇〇時間で全国でトップ。住民参加型在宅福祉のパイロットとして先駆的役割を果たし、今では全国に同種の団体が七百を越え、大きな影響を与えた。今後は新しい方向として在宅ホスピス活動を計画中で注目されている。

〈橋本 明〉

●選考経過

地域に密着した活動が次々に挙げられていく。130万人の組合員を対象にさまざまな地域活動を実践してきたコープこうべ。大人の重症心身障害者を介護する青葉園も見習うべきモデルとして取り上げられた。長田ケアホームの中辻直行は、仮設住宅の支援活動を継続的に行い、ボランティアネットワークの輪を広げている。知的障害をもつ人たちの感性を手織物の指導を通じて育てている鈴木都の活動も見逃せない。

最終的に、訪問活動をはじめ有償で在宅福祉サービスをおこなってきた神戸ライフケア協会の、高齢化社会を見据えた先駆的な活動が高い評価を得た。

●受賞者メモリアル

- 1 福来四郎
- 2 小畑延子
- 3 神戸市立友生養護学校
- 4 春本幸子
- 5 富永繁男
- 6 神戸大学看護ボランティア
- 7 米田寛子
- 8 神戸東部地域入浴サービス実施委員会
- 9 涌井安太郎
- 10 山本博繁
- 11 エリア会 OHPこべ
- 12 誕生日ありがとう運動
- 13 兵庫ボランティア協会
- 14 神戸いのちの電話
- 15 賀川記念館
- 16 点訳ボランティアグループ連絡会
- 17 KOB E在宅ケア
- 18 ボランティアアグループはほえみ
- 19 梅崎茂登子
- 20 楽団あふあが





子供たちのための宿舎は教室としても使われている



レンガやコンクリートを手から手へ。宿舎基礎工事に会員も参加した

第20回 井植文化賞

～国際交流部門～

手作りの体験共有を通して異文化交流
を深める真のボランティアグループ

関西バングラデシュ・プロジェクト

●選考委員

新野幸次郎

〈神戸大学名誉教授〉

宇都宮 浩

〈兵庫県企画部参事〉

住野 和子

〈神戸YMCAクロスカルチュラルセ
ンタープログラムディレクター〉

一九八五年、英文月刊情報誌「KANSATIMEOUT」の読者の基金をもとに、一人の英国人がバングラデシュのベタギ村の孤児院を訪れ、その体験談の報告を受けてスタートしたのが「関西バングラデシュ・プロジェクト」。日本人のほか英国人、米人、クロアチア人、フィリピン人などマルチカルチュアの会員五〇名で構成されている。

バングラデシュでは雨期になると洪水のため何万人もの犠牲者が出る。孤児となった多くの子供は栄養不良のため生き残るのが困難な状態、しかも貧困のため識字率は二十五%、女子になると十五%にも満たないという現状だ。

一九八八年、会員十一名が現地の人々と共に基礎工事を行ない子供たちのための宿舎を建設したが、この秋には女子のための宿舎建設を計画している。

〈住野和子〉

■選考経過

様々な団体が活動を行っているなか、今部門では特に、地道に長い時間をかけて十年以上の活動が続いているグループもしくは個人に的を絞り、選考が始まった。

オーストラリア人の留学プログラムや日本語補助教員の現地派遣などに力を注いでいる古澤肇子、日中の友好をさらに深めようと意欲的に活動が続けている移情園（孫中山記念館友の会）、また公開講座などによりアジアへの理解を深める学際的でマージナルな活動が特徴的な汎太平洋フォーラム、そして、留学生の生活保全に努める全国にないユニークな人材、千趣会会長が設立した千趣留学奨学財団などが候補に挙げられたが、今回は昨年度候補でもある、体験を共有しあいながらのボランティア活動を続けている関西バングラデシュ・プロジェクトに決定した。

●受賞者メモリアル

- 1 加藤一郎 〈神戸日独協会名誉会長・神戸大学名誉教授〉
- 2 神戸日本赤十字協会
- 3 神戸YMCAクロスカルチュラルセンター／留学生ホストファミリープログラム
- 4 CHIC
- 5 アルカディア協会
- 6 神戸フーテン友好協会
- 7 海星病院ボランティア・グループ
- 8 森原泰葉 〈関西日印文化協会会長〉
- 9 ミニFM局FMわいわい

第20回 井植文化賞

～報道出版部門～

被災放送局AM神戸の活動を記録

●選考委員

宮本 和

〈ラジオ関西社長〉

三木 康弘

〈神戸新聞論説顧問〉

向井 輝彦

〈NHK神戸放送局局長〉

『いのち結んで』 三条杜夫

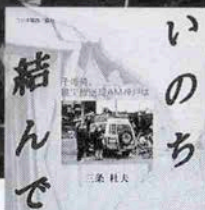
大震災の発生当初、被災地が最も頼ったメディアは、ラジオだった。とくに神戸の須磨区にあって杜屋を破壊されながら、生き残ったスタジオを拠点に、震災情報を発信し続けた「AM神戸・ラジオ関西」の電波は、瓦礫の中の人々を傾聴させ、勇気づけた。

『いのち結んで』その時、被災放送局AM神戸は、作家の三条杜夫氏が、発生の瞬間から連続六十九時間にわたった「震災特別報道」を中心に、その活動を克明に記録した本だ。AM神戸の個性ある放送人たちが、さまざまな極限状態で、どのように報道活動に集中していたか。その放送魂と勇氣、ラジオのリアルタイムの迫力がすごい。そのまま震災の街々の凄惨かつ貴重な記録ともなった。

三木康弘



作家の田中康夫さんと被災地から放送する三条杜夫さん（左）



1995年1月17日早朝、阪神大震災発生が被災地では、ラジオが唯一の情報源だった。

『いのち結んで』
(神戸新聞総合出版センター刊)

■選考経過

出版では、詩集「阪神大震災・第二集」（アートエイド神戸）、句集「即興の山」（和田悟郎）、「神戸ハイカラ文化の伝統」（阪神淡路産業復興推進機構）などの名が挙がったほか、「日本出土銭結覧」（永井久美男）の地道な調査活動が評価された。

報道では、近畿エリアに放送されている「がんばろや阪神淡路」（NHKテレビ）などが、被災者を激励しているとして注目され、引き続いで放送が期待された。

昨年、被災しながらも震災報道を続けたAM神戸に対する評価も高く、地震発生時からの活動を克明に記録した『いのち結んで』（三条杜夫）の受賞が決まった。

●受賞者メモリアル

- 1 「あなたの愛の手を」
神戸空襲を記録する会
- 2 兵庫県学校厚生会／落合重直
- 3 サンテレビ「助けてみた兵庫の手づくり」専木一夫
- 4 「兵庫探検」（兵庫史を歩く）
- 5 「兵庫県高齢者放送大学ラジオ講座」
- 6 「神戸の中堅150社」
- 7 「神戸新聞淡路局」（淡路報事社）
- 8 「神戸からこんにちは」
- 9 「天津からこんにちは」
- 10 神楽組
- 11 「私たちの昭和史」
- 12 「バルモア朝日日記」
- 13 スタジオTODAYホットに聴こう！
- 14 「収録港海労働神戸港」
- 15 「ひょうご経済人100人」
- 16 「火輪の海」（メダルは笑顔に輝いた）
- 17 神戸新聞「ミ間瀬取材班」
- 18 「兵庫史を歩く」
- 19 「播磨学園生会（四巻）」
- 20 コウベ・ドラマ8
- 21 神戸新聞コラム「正平談」



(あさい・のぶお) 1935年新潟県生まれ。東京外大卒。読売新聞ワシントン支局長など海外勤務十年以上。米国ジョージタウン大客員研究員、三菱総合研究所客員研究員などを経て87年から現職。著書「アメリカ50州を読む地図」「民族世界地図」ほか。横浜市在住。

■浅井信雄対談シリーズ〈24〉

書店の楽しみ、おしゃれな読書

ゲスト

工藤 恭孝 シュンク堂書店社長

浅井 信雄 神戸市外国語大学教授

浅井 たくさんの店を持っていらつしやいますが、これまで神戸にはどうして大型の書店が育たなかったのでしょうか。

工藤 まず地理的な条件があります。細長いまちは、人の集中度が低くなります。南半分は海で、人がいない。東西でも、例えば明石から三宮までは電車で十七分ですが三百七十円かかる。本一冊買うためにそこまでしても、という感じでしょうね。

浅井 大阪には大型の店がたくさんあります。集中度が高いのでしょうか。

工藤 旭屋、紀伊国屋など、わたくしどもよりはるかに大きいお店です。みなさんそれぞれ経営基盤がしっかりしています。その点、神戸は弱かった。いまでこそ利益率は二一%になりましたが、初めのころは一八、一九%くらいで苦しかった。書店だけやっていたら店を広げる余裕はなかったと思います。



(くどう・やすたか) 1950年兵庫県生まれ。72年、立命館大卒。書籍問屋キクヤ図書入社。父の工藤淳が元町で大同書房を経営。76年、三宮に新店舗を開店。父の名ジュン・クドウにちなんで新店舗ジュンク堂社長。現在、神戸市内に6店の外、京都、芦屋、明石、姫路、大分、鹿児島、パリに店舗を経営。芦屋市在住。

浅井 教育図書の月賦販売や取り次ぎの事業もやられています。それがうまくいったのです。神戸の人口は大震災で百五十万を切ってしまいました。この春駿々堂が進出してきました。マーケットとしてまだ有望だと見られているのでしょうか。ほかの地方都市の状況はいかがですか。

工藤 横浜の有隣堂が東京勢に対抗してがんばっているくらいでしょうか。全国的に中央からの大型店出店攻勢は厳しいですね。

浅井 ジュンク堂さんはそこをうまくやってこられた。

工藤 いえいえ、たいした店ではないとお目こぼしにあずかってきたのです。

浅井 神戸の住民に地元のお店を大事にしようという気持ちがあるのではないですか。

工藤 震災後は特に強いですね。ただ、逆のことになるかも知れませんが、神戸と比べて京都の店では専門書がよく売れます。うちの京都店では、三宮店の一・五倍の専門書が売れています。

浅井 京都の人は神戸の一・五倍も勉強するのでしょうか(笑)

工藤 そうかもしれません(笑)。ただ言えるのは、京都は震災で焼けなかった。その分、生活費に占める住宅費の割合が低い。本に回せる余裕があるのではないかと推測しています。神戸は、大震災でこれから住宅費の割合が非常に高くなりますね。本屋にとってはますます難しい時代になるだろうと思っています。

浅井 神戸はぜいたくな暮らしを求める面もあるような気がします。おしゃれのセンスを磨き、おいしいケーキを見つめることに暮らしの意義を感じている。本の方へお金が行かないのかもしれない。

工藤 センター街の店で見ていると、センター街にふさわしい、おしゃれだな、と思う女性は、まずうちの店に入っていない(笑)。

浅井 本を読むことは自分の内面を見つめることにもなります。個人の、孤独な作業とも言えます。やや暗い仕事で、開放的とは言えない。どうも、神戸の人には似合



浅井信雄さん

わないことなのかも知れませんね。

工藤 それと、高い本より安い文庫本を選ぶ。

浅井 着るものにはパットとお金を使うが、本は文庫本で間に合わせる。こういうのを神戸では「おしやれケチ」というそうですが……。マンガ専門店も出していらつしやいますね。

工藤 ええ、やむを得ずやっているとしかたです。あまりジュンク堂という名前は出さないようにしているのです。マンガは活字メディアとはちがいますからね。

浅井 大型店ばやりですが、小さくても専門化された個性ある店が生まれる可能性はありませんか。

工藤 総マージンが神戸は小さいので、経営的に難しいところがあります。

浅井 アメリカでは人がまばらな地域でも、例えば環境に関する本とグッズだけを売っている小さな店があります。ミステリーなら何でもある店は、薄暗くて、葉巻の香りがするようなこった作りで、そんな店が繁盛している。

工藤 日本は全国どこも土地も家賃も高い。利益率二％のうち七％から五％は家賃の支払いになる。自分の

土地であっても固定資産税がかかる。店をやっていると固定資産の評価がますます高くなる。人件費も一〇％強はかかる。本屋というのは売れない本をたくさん長く抱えておかねばならない。音楽書、料理書など回転が悪い。児童書も、ブッククラブのようなものがあって支えてくれているところはいいのですが、これも余り売れません。

浅井 神戸には個性的な人が多いから、専門的なニーズはあるだろうと思いましたが難しいものですな。

工藤 神戸には児童書の専門店が何軒ありましたがやっていけるのは本山のひつじ書房だけかも知れません。わたしどものサンバルの店にはかなり広いスペースを児童書に当てていますが、家賃分も出ない状態です。専門の本は地方では採算が取れません。

★書店員にも接客サービス業の苦勞

浅井 店員さんは一種の接客業のようなところがありますね。探している本のことを尋ねるとすぐ見つけてくれる店員さんがいると、店のイメージがよくなる。いつまでもうろうろしている店員さんには「いいから自分で探す」と言いたくなる。理想的な書店の店員とはどんなタイプなのでしょう。

工藤 本屋の特徴は、お客さんがそれぞれ自分の専門をもっている人で、店員より知識がある。他の業種では、店の方がお客さんに勝っている部分がありますが、書店では、お客さんの方が本の中身について詳しい。なかなか勝てません。ですから、建築、法律、宗教などジャンルごとに張り付いて覚える、そういう職人を育てようと考えています。三、四年経つと、大学の先生が来られても返事ができるようになる。書名を聞いただけで著者名

がすらすら出て来て「その本ならさっき売れてしまいましたが」など言うこともできる。実は、売れないので返品してしまったのですが(笑い)。「何年に出た本ですね。すぐ取り寄せます」という応対ができると、先生も信用して「じゃあ待っているから」と言ってくれます。

浅井 そうだったのですか。これからは警戒して本屋さんに行きましょう(笑い)。まさに接客業ですね。

工藤 ウソをつけと教育しているわけではないのですが、専門分野の中身ではお客さんに勝てない。だから、本の名前、著者、概要、出版社の名前、発行年度などの知識を豊富に持って、それでお客さんの役に立とうというのが書店員のプライドです。

浅井 アメリカでは検索システムが張り巡らされていて即座に探し出してくれます。絶版になった本でも、古本屋に行けば古本屋のネットワークがあり、一カ月後に「見つかったよ」と電話をくれました。これには感激しました。

工藤 日本でも古本屋さんのネットワークはあります。リストを回して探してくれます。違うのは、古本屋さんには希少本でないと商売が成り立たない。ですからそのリ



工藤恭孝さん

ストに載っている本が限られてしまう。新刊本の検索システムもアメリカよりかなり遅れている。

浅井 アメリカでは知的所有権という考え方が早くから確立し、だれがどんな本を書いているかがすぐ分かるシステムが作られた。日本では、本のコピーが平気で行われる。たくさんコピーして売ったりもしている。多くの大学の図書館はコピーは一部だけという制限をつけていますが、一般的にはいいかげんになっている。わたしが外国で苦労して探して来た本を知人に見せると、ちょっとコピーさせてくれと簡単に言う。アメリカとはこの点が大きく違います。

工藤 その差ですね。わたしどもは九四年に新しい読み取りレジを大型店に置いたのですが、それまでは小さい店舗用のPOSレジしか業界にはなかった。コードの様式がいくつもあって、一つの読み取り機に一つのPOSレジがいる。全部を読み取ろうとするとカウンタが機械だらけになる。それを何とかしようと、当社が業界で初めて開発したのですが、それでもサンプルの店では読み取れない本が一五%ある。一〇年以上前に発行された本にはコードが付いていないからです。コードがついていてもデータベースがないものが一〇%近くあり、書名が出てこない。書籍の検索はなかなかアメリカに追いつけません。

★プロの万引きと火花散る駆け引き

浅井 読書の傾向は、国によって違いがありますが、国内でも地方によって違いが見られるでしょうね。

工藤 それが余り見られません。均一化されていると言えるでしょう。ただ新刊書が出回る時間差はあります。ベストセラーでも、東京から一週間遅れて神戸で売れ始

め、鹿兒島ではもう一週間遅れて立ち上がってくる。

浅井 テレビの番組で言えは、東京は報道情報系のものが多く、関西では娯楽系が多い。そういう傾向が読書にも反映されているのではないだろうかと思うのですが。

工藤 それはあるでしょうね。地域差というより、社会的な層の差かも知れません。東京のサラリーマンは上司に「この本読んだか」とよく聞かれるらしい。新刊書に目を通しておかなければついていけないという空気があります。大阪では、家に帰ってまで何で商売の本を読まなあかんのや、という気分ですから。でも、銀行、官庁に勤めている人は新刊書を割合よく読まれます。

浅井 本屋さんには万引きが付きものと思いますが、多いですか。

工藤 多いですねえ。神戸のわたしどもの店には二、三人の私服の警備員を置いているのですが、毎日何人かを捕まえている。老若男女問わずです。決算で見ると、定価の1%くらいの誤差が出る。1%というとなんかいうようですが、本の冊数にすると結構多い。これも地域性があるって、地方都市に行くと少ない。顔見知りだからということもあるでしょうが、換金できる場所がないからかも知れません。万引きのプロもいまして、警備員と顔を合わすといさつしたりする。それでもすきをねらってくる。すごい駆け引きです（笑い）。

浅井 本が盗まれるというのは寂しい話です。読みたくて万引きする、これも寂しいことです。

工藤 お金が足りなくてどうしてもほしい本が買えなかったの、と聞くと持って帰りたいと言いたくなることもある。留学生で研究書が買えないという事情はよくあります。

浅井 立ち読みもよく見かけますが注意されているのですか。

工藤 仕方がないですね。本を傷めるのはやめてほしいのですが。ここまで読んだ、とページを折ってまた読みにくる（笑い）そんな人もいます。

浅井 感想も書き付けたりして（笑い）。

工藤 担当者もよく分かっている、後で折り目を直したり、消しゴムで消している…。

浅井 翌日来たら、あれっ、どこまで読んだのか分からなくなつた…（笑い）。本を扱う礼儀作法が乱れてきましてね。本をまたいではないけない、印刷物は踏んではいけないと教えられてきたものでしたが。

工藤 消費財になつてきたのでしょうか。雑誌は特にそうですが、文庫本も消費財の仲間入りですね。困るのは棚に戻さないで放つていく人が多い。ブティックなどでもそうなんでしょうが、商品を元に戻さない人が半分以上はいる。店員の仕事のほとんどがその後始末です。

★売れ行き落ちる読書の秋

浅井 本の並べ方は季節によつて変えるのですか。

工藤 学習参考書の場合は時期によつて大きく変わります。新学期の厚ものといいますが、一年間の参考書、夏休みごろの傾向と対策もの、冬の願書、直前の薄もの、そんなふうに変わります。登山やスキーなど季節ものも配置が変わります。

浅井 読書の秋といいますが、秋はやはりよく売れますか。

工藤 いや、読書週間というのがありますが、あれは売れない時期だから業界が考え出したのではないでしょう。十月から十一月は端境期で一年で一番売れない時期なんです。

浅井 意外なお話ですね。夏はどうですか。

工藤 児童書や旅行書などが売れます。受験生にとって
は書き入れ時なので学習参考書も結構出ます。

浅井 最近ではカルチャー、軽い方の軽チャーですが、そ
れが終わって、読むのに時間がかかる重い本が売れるよ
うになったと聞きますが…。

工藤 哲学関係の本です。『ソフィーの世界』がなん
であんなに売れたのか。二千五百円もするのに売れてい
る。なぜなのでしょう。



本の楽しみ、書店の苦勞を語る工藤さん、浅井さん

浅井 バブルが終わって、まじめで手が見直
されてきたこともあるでしょう。

工藤 教養のハウツーものですね。でもみな最後ま
で読んでいるのでしょうか。

浅井 震災の本はどうですか。

工藤 一年まではよく出ましたが今は止まりました。京
都店ではこのくらい（片手の指の幅）位でしたが、神戸

ではこんなに（両手を広げて）出ました。一周年のころ
は、世話になった人にお返しの商品としてたくさん買われ
る人がありました。

浅井 一周年には写真集などがいろいろ発行されました
が、見たいが半分、見たくないという気持ち半分あり
ました。まだまだつらい思いがあります。

工藤 孫の代に残しておくのだというおじいさん、おば
あさんも多かったようです。

浅井 学生の就職のことで一つ。本が好きだから書店に
向くと言うわけでもないですが、本が好きだという
ことは必要条件でしょうか。

工藤 わたしどもの会社訪問に来る学生は放っておいた
ら数千人になる。今年は六月で四千人になったところで
締め切りました。みんな本が好きだという学生ですが、
わたしどもの規模では採用できるのは数人程度でしかあ
りません。本当は、本は嫌いだ、音楽や陶芸が好きだと
いう学生も来てほしいのですが。

浅井 希望者の数はすごいですね。しかし書店に勤めた
ら本が自由に読めるわけではない。

工藤 そうです。本が好きなら別の仕事について月給を
たくさんもらって買って読んでほしい（笑い）、そう言
っているのです。本に囲まれているのが幸せだ、という
学生もいますが、店で幸せそうにボーッとなっているも
らわれては困る。

浅井 書店に勤めながら作家になった人は多いですね。
林真理子、出久根達郎など。仕事そっちのけで本を読ん
で勉強していたのでしょうか。

工藤 わたしどもの店でも自分で作品を出版した社員が
五、六人います。書くことが本業になって退職したもの
もいます。それを見ると、本屋の楽しさはまたそれ
なりにありますね。 （七月九日、北野坂にしむら珈琲店で）

今、出発点に立つあなたは自らの音楽を得るためにどんな道を選ぶのか

パークリー・インターナショナル・ネットワーク校

甲陽音楽学院／学院長 菅内 孝憲さん

音楽を目標とした2800人の学生との体験は素晴らしいこと

ボストンは、学生で溢れかえる活気のある町だ。1945年にパークリー音楽大学が創立されるまで、アメリカにも正式にジャズを勉強するシステムはどこにもなかった。



ギター指導のジム・ケリー氏とギタークリニックに参加した学生たち

現在はジャズに止まらず、ロック、フュージョン、レゲエ、コンピューターミュージックなど、さまざまな学科があり、PAや音楽ビジネスマネジメント、音楽教育、セラピーなど新しい分野の教育も活発に行われている。コンテンツ・ポラリミュージックを学ぶには世界一の規模といえる。

甲陽音楽学院の夏期クリニックで、サックスの指導にあたるラリー・モンロー氏は「パークリーで学ぶことは教師や授業や施設の充実もさることながら、2800人の音楽を目標としている人たちとの出会いと体験

が非常に貴重」と。彼の言葉は、コンテンツ・ポラリミュージックを目指す若者にとつては魅力的な一言だ。

在学生のうち、1000人は海外留学生。自分で手を伸ばせばいくらでも貴重な体験を得ることができ、世界中に友人をもつことができる。

パークリー音楽大学と 同じ教育理念をもつ甲陽音楽学院

甲陽音楽学院は、1984年の創立当初からジャズトランペッターのタイガー大越氏を特別顧問に迎え、パークリーの卒業生でもある氏との信頼関係によって、1995年の1月にはパークリー音楽大学の提携校となる予定だった。代表団が来神する1月17日、あの震災に見舞われ校舎は全壊した。しかし、校舎も徐々に再建。1995年9月から



夏期クリニックで熱心にサックスの指導をするラリー・モンロー氏



世界にははたらくアーティストを送り出す甲陽音楽学院

正式なパークリー・インターナショナル・ネットワーク・メンバーとなった。パークリー音楽大学の副学長、ゲイリー・パートン氏は「音楽教育のシステムと理念が似ている甲陽音楽学院とネットワーク校のシステムを組めることは、幸運なことだ。多くの日本の留学生が有意義にパークリーに留学できるようにしたい」。その一環として、来春からパークリーの教授が、在校し直接指導もしていく。毎年、夏にはパークリー音楽大学の教授によるギター、サックス、ドラムのクリニックがあり、留学のための説明会も行われている。また、甲陽音楽学院で行われる奨学金試験に合格すればパークリー音楽大学の奨学生として留学できる。



朝日・産経提携校／新開奨学金制度採用校
パークリー・インターナショナル・ネットワーク
甲陽音楽学院

〒657 神戸市灘区篠原南町5-4-1

お問い合わせ・資料請求は イイナ コウヨー
フリーダイヤル
ファックス共 **0120-117-540**

「人が大好きだから仕事が好き」

株式会社オー・グー取締役営業部長
水島 恵子さん

★出会いによってキャリアがスタート

ある出会いが人生を決めてしまうことがある。水島さんのキャリアは、当時のワールドグループの人材教育部門にいた瀬尾俊恵さんとの出会いによってスタートした。「人と話すのが大好き」という水島さんの才能は、ここで開花する。いきなり当時のファッションビル・ビブレの中にあるブティックの店長として店を任されたのだ。就任1年目の売り上げは前年比70%。しかし、



翌年、なんと250%に。「来店されるお客さまの顔を全部覚えたんです。一度だけいらした方も」と、事も無げに微笑む。「お店に水島さんのいる日は？」と聞くお客さんも増え、彼女のファンができた。この実績を買われて、2年目には17店舗を取りまとめるエリア長に。やがて、ワールドグループの小売り店に対する、店舗指導インストラクターとして、キャリアを積む。

★プロフェッショナル集団オー・グー

ワールドグループの中の人材教育部門が独立し、小売り業を特化した人材育成を専門とするプロ集団「オー・グー」が設立されたのが、1994年の12月。お客さまに一番似合う色を見つけ出すアドバイスをするカラーアナリストや、店舗の購買客を増やすための教育イベントを行うスタッフなどで構成される女性ばかりのプロ集団だ。水島さんは、小売りの現場から、現場で働くスタッフをバックアップする管理職となる。お互いに仕事に妥協しない性格から社長の瀬尾さんとも、大げんかになったという。「でも、けんかするっていうのは、いいたい事を言い合える、風通しのいい雰囲気だってことでもあるんです」。外部からの研修の講師も驚くほど意見交換が活発なオフィスは、澁刺とした雰囲気に満ちている。

★キャラクターがそのまま社風に

神戸を拠点としているオー・グーの得意先は、九州から北海道まで全国にちらばっている。この日も東京からの出張から帰ってきたばかり。出張も多いし、また一般消費者向けとしたセミナーなどのイベントも多数手がけているので多忙を極めている。



しかし、仕事を語る水島さんは終始微笑みが絶えない。一時の「キャリアウーマン」といった力の入ったイメージは感じられない。柔らく、タフな水島さんのキャラクターは、そのままオー・グーの社風となっているようだ。

ファッションビジネスを活性化する

好感度開発集団

*Haut-Goût
spécialiste*

株式会社 オー・グー

RECRUIT KOBE BLD. 12F
95 EDMACHI CHUO-KU, KOBE, 650 JAPAN
TEL. 078-391-9046 FAX. 078-391-9047
SANPOU SOUGOU BLD. 602
6-5-6 JINGU-MAE SHIBUYAKU, TOKYO, 150 JAPAN
TEL. 03-5466-3560 FAX. 03-5466-3673

残暑お見舞い申し上げます。

1996年 夏



PHOTO/米田英男

'96 7月20日、第26回神戸まつり・復興KOBEパレード（生田ロード～元町）

財団法人 井植記念会

理事長 井植 貞雄

神戸市垂水区青山台一丁目二二一
電話 〇七八七五一一五二一六
FAX 〇七八七五一一七六九六

株式会社 神戸新聞社
株式会社 デイリースポーツ社

代表取締役社長 荒川 克郎

神戸市中央区東川崎町一丁目一五七
電話 〇七八三六二一七四〇〇
FAX 〇七八三六二一七四二二

株式会社 三星堂

取締役社長 山田 隆史

神戸市中央区山本通二丁目四一
電話 〇七八三二一四三三一
FAX 〇七八三二一〇三三九

横山倉庫株式会社
磯上モータープール

代表取締役社長 横山 吉雄

神戸市中央区磯上通八丁目一五
電話 〇七八三二一五三一一
FAX 〇七八三二一〇四九〇

マンション管理会社
株式会社 KBSシラカワ

代表取締役 白川 欽一

神戸市灘区深田町三丁目二一
電話 〇七八八一四四四四
FAX 〇七八八四一一二一六

新神戸土地株式会社

代表取締役社長 千原 政雄

神戸市中央区中山手通五丁目一三
電話 〇七八三七一五五六六
FAX 〇七八三七一一六〇〇

関西西宮信用金庫

理事長 高山 彦一

神戸市中央区山手通二丁目二二一
電話 〇七八三二一五一一一
FAX 〇七八三二一九八七四

株式会社 加美乃素本舗

代表取締役社長 宮崎 幸三

神戸市中央区熊内橋通三丁目二五
電話 〇七八三二一四四五五
FAX 〇七八三二一四〇四

カワノ株式会社

代表取締役 河野 忠博

神戸市長田区大道通五丁目五
電話 〇七八六三二一一六六一
FAX 〇七八六三二一一七八

有古特許事務所

所長・弁理士 角田 嘉宏

神戸市中央区東町二丁目一三番七三番
電話 〇七八三二一八八二二
FAX 〇七八三二一五七九一

有限会社 ティエスプラン
本社 薬局朝霧ファーマシー

代表取締役 霜 寄 敏文

明石市朝霧町三丁目一五一一二
電話 〇七八九一一一五七〇
FAX 〇七八九一一一五七六

株式会社 瀬戸本淳建築研究室
一級建築士事務所

代表取締役 瀬戸 本淳

神戸市中央区北野町一丁目一二〇
電話 〇七八三二一一六六五
FAX 〇七八三二一一六五六

株式会社 シヤルレ

代表取締役社長 林 宏子

神戸市須磨区弥栄台三丁目一二一
電話 〇七八七九二一七〇〇〇
FAX 〇七八七九二一七五二二

東亜外業株式会社

取締役社長 小本 洋一郎

神戸市兵庫区西出町二丁目二二
電話 〇七八六六一一一一
FAX 〇七八六六一一六〇三

和田興産株式会社

代表取締役 和田 憲昌

神戸市中央区栄町通四丁目二二
電話 〇七八三六一一一〇〇
FAX 〇七八三六一一一五〇

株式会社 サガノ(旧株エィデー)

代表取締役 東 善彦

尼崎市東園田町九丁目一七四
電話 〇六四九八一一八六〇〇
FAX 〇六四九一一六〇〇一

株式会社 アイド

代表取締役 井上 誠

神戸市東灘区魚崎南町三丁目七一
電話 〇七八四五一三三五六
FAX 〇七八四五一三三六〇

株式会社 アンヌーヴォ

代表取締役社長 榎本 靖子

神戸市東灘区西岡本七丁目一
電話 〇七八四五一三三〇五
FAX 〇七八四五一三三〇九

残暑お見舞い申し上げます。

1996年 夏



PHOTO/米田英男

'96 7月20日、神戸まつり'96協賛神戸サンパフェスティバル（京町筋）

株式会社 みどり銀行

頭取 米田 准三

神戸市中央区生田町一四一三
電話 (〇七八) 三二一六五〇
FAX (〇七八) 三二一六三九四

三輪運輸工業株式会社

取締役社長 三輪 吉郎

神戸市中央区脇浜町一〇一
電話 (〇七八) 二五〇一五〇
FAX (〇七八) 二五〇一四五五

ディティエスエス株式会社

代表取締役 大下 幸夫

神戸市中央区栄町通四一
電話 (〇七八) 七五九〇〇
FAX (〇七八) 七五七七一六

寄神建設株式会社

取締役社長 寄神 茂之

神戸市兵庫区七宮町一
電話 (〇七八) 六八一三二二
FAX (〇七八) 六八一三八二

株式会社 カンキ

代表取締役社長 桐月 正邦

神戸市須磨区外浜町一九一
電話 (〇七八) 七三三二二二
FAX (〇七八) 七三五〇七四

大関化学工業株式会社

取締役社長 津田 明和

神戸市東灘区本山中町一
電話 (〇七八) 四五一二五九一

株式会社 神明

取締役社長 藤尾 益也

神戸市中央区海岸通六
電話 (〇七八) 二七二二二二
FAX (〇七八) 二七二二二二

株式会社 小林恒建築研究所

代表取締役 小林 恒

芦屋市楠町一六番一
電話 (〇七八) 二八〇〇一
FAX (〇七八) 二八〇〇一

コーナン建設株式会社

代表取締役社長 原 眞一

神戸市中央区磯上通六一
KOBEN Mビル四階
電話 (〇七八) 二二一六二九三
FAX (〇七八) 二二一六二九三

松本鋼機株式会社

代表取締役社長 松本 花子

神戸市兵庫区湊町一
電話 (〇七八) 六八一七三七

株式会社 共進牧場

取締役社長 中尾 作蔵

神戸市中央区楠通一
電話 (〇七八) 七三七一七六
FAX (〇七八) 七三三七三六

パークリーインターナショナルネットワーク
甲陽音楽学院

学院長 菅内 孝憲

神戸市灘区篠原南町五
電話 (〇七八) 八八二一四六〇
FAX (〇七八) 八八二一六三六

株式会社 ソシエ・ワールド

代表取締役社長 高橋 孝

東京都渋谷区代々木二
電話 (〇三三) 二二五八五〇
FAX (〇三三) 二二五八四〇

株式会社 ティエラ

代表取締役社長 増澤 空

神戸市中央区東川崎町一
電話 (〇七八) 三三七七九
FAX (〇七八) 三三七七一六

モザイク商店会

会長 東中 弘吉

神戸市中央区東川崎町一
電話 (〇七八) 三三七七九
FAX (〇七八) 三三七七一六

株式会社 いぬづか写真室

新神戸オリエンタルホテル写真室
代表取締役 犬塚 ゆたか

本店 西宮市社家町一
電話 (〇七八) 三三七七九
FAX (〇七八) 三三七七一六

東洋紙業株式会社

取締役社長 朝日 徹夫

大阪市浪速区音原一
電話 (〇六) 五五七二二二
FAX (〇六) 五五七二二二

ナニワ印刷株式会社

取締役社長 西井 幾雄

大阪市北区天満一
電話 (〇六) 三五一七四七九
FAX (〇六) 三五一七四七九

ママKISSの
佐々木 湘



ジャズトランペッターの
タイガー大越



対談シリーズ

The Babyboomers の男と女

〈団塊世代〉

第2回 Husband and Wife 〈夫婦〉

夫婦としての男と女、昨今、そうもいつてられない形もあるにはあるが、いつの世も二人だけにしかわからない、オリジナルなつきあい方がある。

夫は私がつくりあげた最高の男性

― お二人とも、結婚生活もベテランというところでしょうが。

佐々木 結婚して十六年になるけど、よく相手のことを、空気のような存在っていうけど、あれが信じられない。

タイガー 人生のパートナーだよな。

佐々木 戦友、一緒に「戦ってきた」みたいな。

タイガー 愛し方こそ、知り合った十八歳のころとは違ってくるけど、愛したい愛されたいという気持ちがあつてね、その人に愛されたいために、だんだん姿勢を変えていった。そのうちに一番きれいに見える距離がわかってくるでしょう。

佐々木 ちよつと距離を置くという意味？

タイガー ノーノーノー、彼女が一番よく見える状態つてこと。ほら、カメラマンがその人をきれいに撮るために、いろいろ工夫をするように、その時に応じて一番いい状況にする。人間だから、喧嘩したり嫌な部分もあるわけでしょ。僕は一度も彼女に手をかけたことない。かけられたことはありませんけどね(笑)。

彼女を怒らせるのは、僕が悪いと思ってるから。

佐々木 どのぐらいのインターバルで喧嘩するの？
タイガー 最近はそのなりにしないね。しないようにもつていつてるのかな。僕たち、こんな人生は不可能だという人生を歩んできけると思うし、苦労してきたから。喧嘩しても許し合うことの方が大きい。

佐々木 私たちは、毎日二時間ぐらい喋ってる。みんなに異常だつて、びっくりされるんだけど。お互いに戦友で、いろんな節目を二人で乗り切ってきたから。それに、彼は私が作りあげた最高の男性なのよ。パーフェクトな、どこに出しても恥ずかしくないような、男性(声が大きくなる)。

□佐々木湘（作家）昭和25年生まれ。関西学院大学大学院卒。夫の隆英氏が、同じ予備校でアルバイト講師をしていたときに知りあい、3年後結婚する。本誌連載の「イノセント・イモラル・マミー」が新潮社より「ママにはKISSがよく似合う」として刊行

□タイガー大越（ジャズ・トランベッター）昭和25年芦屋市生まれ。関西学院大学卒業と同時に同級生の明美夫人と結婚。新婚旅行先のボストンにそのまま定住。親から勤まされ仕送りなしの新婚生活がスタート。昨年、パークリー音楽大学創立50周年記念の「功労者賞」を受賞する



提供／株式会社 ダイエー

タイガー オッホゴッホ（咳き込む）。他にもそんな男性、作ってみたかどうか。

佐々木 ハハハ、同じ男性でも息子はもう手に負えん（笑）。

タイガー どうやって作りあげたのか聞きたいね。

佐々木 私には美学があつて、例えば男性がゴミを出してる姿って嫌なの。家事は半分は担当してもらわないと困るのに、それができない。でも、実際は彼のほうが料理も上手で何でもできる。タイガー 佐々木さんの夫はどんな料理を作るの？

佐々木 何でも、簡単なものを手早く作るよ。その料理する姿が美しいのよね。シェフみたいなの。

タイガー ぼくも料理は大好きですよ。アウトドア料理とか。バーベキューなんてまかしといてください。

佐々木 それって、「まだ食べちゃダメ」とか、仕切りそう（笑）。タイガー ハハハハ。イタリア料理とか得意ですよ。

佐々木 話は戻るけど私と一緒にいるときは、彼は常に恋人であつて欲しいのよね。一緒に出かけるときは二人でオシャレして。でも、物分りのいい威厳のある父親でもあつて欲しい。変わり身の早い、使い分けのできる夫婦が理想かな。いつも同じ顔をしていて欲しくないのね。芝居をしてもらいたいと思つてましたね。

タイガー 芝居ってわけではないけど、昔は、ツアーから帰ったらいつも「こんなだった、あんなだった」と家族に話していた。でも、そんな自分が「悲しいな」と思つてね。それから子どもを、ツアーに連れて行ったりしたんだけど。

ワイフと子どもはいつも一緒だけど、ぼくはいないときが多いでしょ。家で作曲活動をするときは、家族全員が一緒だから「どっかへ行こうよ」ってぼくが言いだすけど、その計画は彼女に任せる。「どこそこへ買い物いこう」「花を見にいきたい」とか。そんなとき、ぼくが居てよかったと思つてくれるようにしてる。だつて、ぼくたち、お金もなければ、仕事もないし、何にもなかったんだもの。ボストンの川縁で「見つけてくれー」つてトランペット吹いてて、ロックバンドに拾つてもらったんだから。彼女には苦勞をかけたから、今はほんとにゆつたりしてほしいと思つてますよ。

（神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて）